

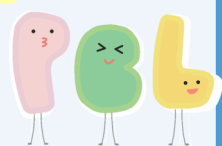


先生のための 図書館活用ガイド



図書館で探究をもっと深く、おもしろく！

インターネット情報だけでいいのでしょうか？
より正確で役立つ情報やたくさんのヒントが図書館で見つかります！



みなさんの学校での探究学習・PBLに こんなお悩みはありませんか？

研究テーマについての調べ方を伝えるのが難しい

情報源がインターネットに偏ってしまう

信頼性の高い情報が集められない



そんな時は…ぜひ**図書館**をご活用ください！



図書館を活用することで身に付くスキルの一例

情報活用能力

図書館は本だけでなく雑誌・新聞・データベース・インターネットと様々な情報源に一度にアクセスでき、情報手段を主体的に選択し、活用する力が身に付く場です。

批判的・論理的思考力

集めた情報の内容を分析したり、シンキングツールを使って整理したりすることで、情報を鵜呑みにせず批判的・論理的に考える力が育まれます。

検索のスキルと考え方

情報が溢れる現代では、ノイズやフェイクも多く、フィルターバブルによる情報の偏りもあります。司書教諭や司書が、質の高い情報を的確に探し出すためのスキルや考え方を身に付けるサポートをします。

まとまった文章の読解力

様々な資料を調査する中で、目次・索引・参考文献の活用方法や、まとまった文章から情報を効率的に見つけ出すための読み方のコツ（例：スキミングやスキニング）を学ぶことができます。

これらのスキルは、情報検索だけでなく、課題の設定や整理・分析など、探究・PBLのすべてのプロセスで役立ちます。

また、進学・就職してから、情報社会を生きていく上で、自分で疑問を見つけ、情報収集し、解決策を考える力は欠かせません。

図書館を活用すれば、探究学習・PBLの充実や、将来的にも役立つスキルが習得できます。

※この活用ガイドでは、「図書館」という言葉を以下のように使い分けています。

- 図書館** : 学校図書館、県立図書館を含む図書館全般
- 学校図書館** : 各校に設置された図書館
- 県立図書館** : 岡山県立図書館

学校図書館を使ってこんなことも！

まずはお気軽に司書教諭・司書までお声掛けください。

たとえば…

客観性や信頼性の
高い情報の調べ方
を学ばせたい

集めた情報の
整理・分析方法を
学ばせたい

食品ロスについて
調べたい

岡山の空き家状況
と取組事例が
知りたい

〇〇についての
授業がしたい

あいまいでもOK！

➡ **身に付けたいスキルや授業の目的に合わせた支援をご提案します！**

授業支援

- ・ 探究・PBLへの図書館活用法
- ・ 出典や参考文献の書き方
- ・ 情報の整理・分析の方法
- ・ シンキングツールの使い方
- ・ 資料のまとめ方 等々

資料準備

調べたいテーマに沿った資料
を準備します。

クラス全員分など、まとまっ
た数をご用意することもできま
す。授業の計画をお早目に司書
にお知らせください。

情報収集のサポート

司書が専門知識を活かして
情報検索をサポートし、必要
な情報を提供したり、情報の
探し方を伝えます。

関連資料や調べ方が分かる
手引き（パスファインダー）
を用意することもできます。

司書教諭や司書が
レクチャーします！



学校図書館を通して県立図書館のサービスを受けられます。

- ・ 学校図書館の資料だけで足りない場合は、県立図書館から取り寄せることができます。
- ・ 調べものが解決しない場合は、解決に向けて県立図書館が学校図書館をサポートします。

先生と学校図書館との協働のために

1 司書教諭・司書との情報共有

指導計画や生徒の研究テーマ、必要な資料などの共有や、事前の打ち合わせが
されていると、効果的な資料提供や支援についてのご提案ができます。

2 探究学習・PBLのための図書館ガイダンスの実施

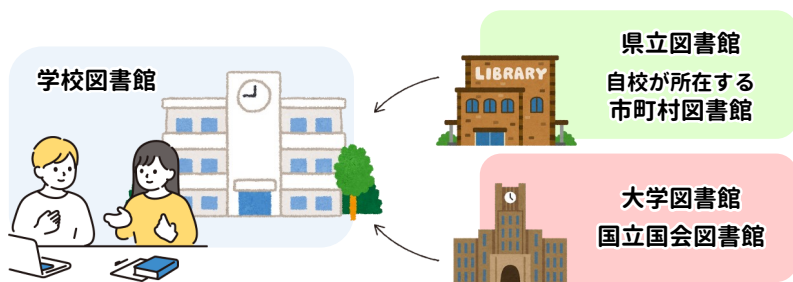
探究・PBLを始める前にガイダンスの時間が設定されていると、生徒が情報収集を
スムーズに行えます。（例：総合的な探究の時間の単元で図書館ガイダンスの時間を設ける 等）

3 校内体制への司書教諭・司書の参画

探究学習推進委員会や担当者会議のメンバーに司書教諭や司書が参画している
と、情報共有が円滑に行えます。

学校図書館について

学校図書館は、読書センター・学習センター・情報センター機能を有した、生徒・教員のみなさんの一番近くにある情報拠点です。



県立図書館はもちろん、市町村図書館や大学・国会図書館とのネットワークも利用して、教育活動をサポートします。

まずはお勤めの学校の司書教諭・司書にお気軽に声をかけてください。

高教研学校図書館部会の探究学習応援サイト

「探究×図書館」では、授業で使えるワークシートや動画、探究学習に使えるリンク集やおすすめ本など、探究学習に関する様々なコンテンツを設けています。



岡山県立図書館について

県立図書館は約160万冊の蔵書と、種類豊富な新聞・雑誌・データベースによって、県内の学校図書館や公共図書館の活動を支えています。



探究学習に役立つイベントのご案内



「『高校生ビジネスプラングランプリ』ビジネスプラン作成講座」では、本グランプリを主催する日本政策金融公庫職員から直接アドバイスを受けることができるほか、その場で県立図書館の資料を利用したり、司書にレファレンスを依頼したりすることができます。

その他、各種のイベントや見学などの際に、職員が役立つ資料や図書館の活用法を紹介します。ご要望に応じてデータベースの利用体験などを行うことも可能です。

ご不明な点は下記お問い合わせ先までお尋ねください。

お問い合わせ 岡山県立図書館 サービス第二課 社会科学班 086-224-1317(直通)



自分と世界を図書館で
探ろう！究めよう！



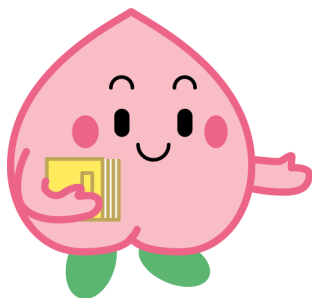
5～8ページで、図書館を使った情報収集のポイントについて

詳しくご紹介しています。

別刷りして生徒向けのガイダンス資料としても利用可能です。

授業でのご利用に当たって、岡山県立図書館への申請や許諾は必要ありません。

ぜひご活用ください。



岡山県立図書館ホームページからダウンロードできます。
【サービス案内】→【資料の収集・提供・相談サービス】→【教育活動支援サービス】

〈参考文献〉

- ・ 上山晋平『高校教師のための「探究学習」ガイドブック』明治図書出版, 2024
- ・ 佐藤浩章『高校教員のための探究学習入門』ナカニシヤ出版, 2021
- ・ 桑田てるみ『チームでつくる探究的な学び』全国学校図書館協議会, 2024
- ・ 高見京子『「探究」の学びを推進する高校授業改革』学事出版, 2019
- ・ 東京都立高等学校学校司書会ラーニングスキルガイドプロジェクトチーム『探究に役立つ! 学校司書と学ぶレポート・論文作成ガイド』ペリかん社, 2019
- ・ 廣瀬志保『高校生のための「探究」学習図鑑』学事出版, 2022



情報の収集のポイント

図書館での情報の収集

図書館には、本はもちろん雑誌・新聞・データベースなど様々な情報源があります。それぞれの情報源の特徴を理解して、目的に合わせて利用することで、多角的かつ正確な情報を集めることができます。

本・雑誌・新聞



- ・ 編集者や監修者の目を通っているため、信頼性が高い
- ・ 目次や索引でおおよその内容を把握したり、必要な部分だけ拾って読める
- ・ 最新の情報はまだ本になっていない場合もある
- ・ 最新の情報を調べるには雑誌・新聞など刊行頻度の高いものが有効

- ・ 手軽に知識を得られるため、概要を掴むのに便利
- ・ 最新の情報や時事問題を調べることが得意
- ・ 情報の信頼性や、過去のページが消えてしまう可能性に注意
- ・ 適切なキーワード選びや検索式の設定も重要



データベース



- ・ 専門的で信頼性が高く、かつ最新の情報にも強い
- ※データベースには新聞・雑誌記事検索、農業・法・市場情報など様々な分野のがあります。有料データベースは図書館によって契約状況が異なりますので、詳しくは司書教諭・司書までお尋ねください。

有効な資料を見つけたら、それを基に異なる情報源で改めて検索したり、参考資料等をたどることで、よりよい情報が見つかる可能性があります。また、統計情報などは、出典が分かればインターネットで最新のデータを確認することができます。

インターネット検索には、適切なキーワードの設定も重要です。本から見つけたキーワードで改めてインターネット検索すれば、探している情報をヒットさせやすくなります。

アンケートやインタビューなど、何度も行うことが難しい調査は、十分に下調べを行うことでアンケート項目やインタビュー内容をより充実させることができます。

有効な資料が
見つかったら…



参考文献や引用元の資料を確認



より有効なキーワードで検索
最新の情報を確認



基礎知識や周辺知識を身に付け、アン
ケートやインタビューをより有意義に

次の情報収集に活かせる！

図書館での本の探し方

図書館で本を探す方法はいくつかありますが、その一つが**ブラウジング**です。

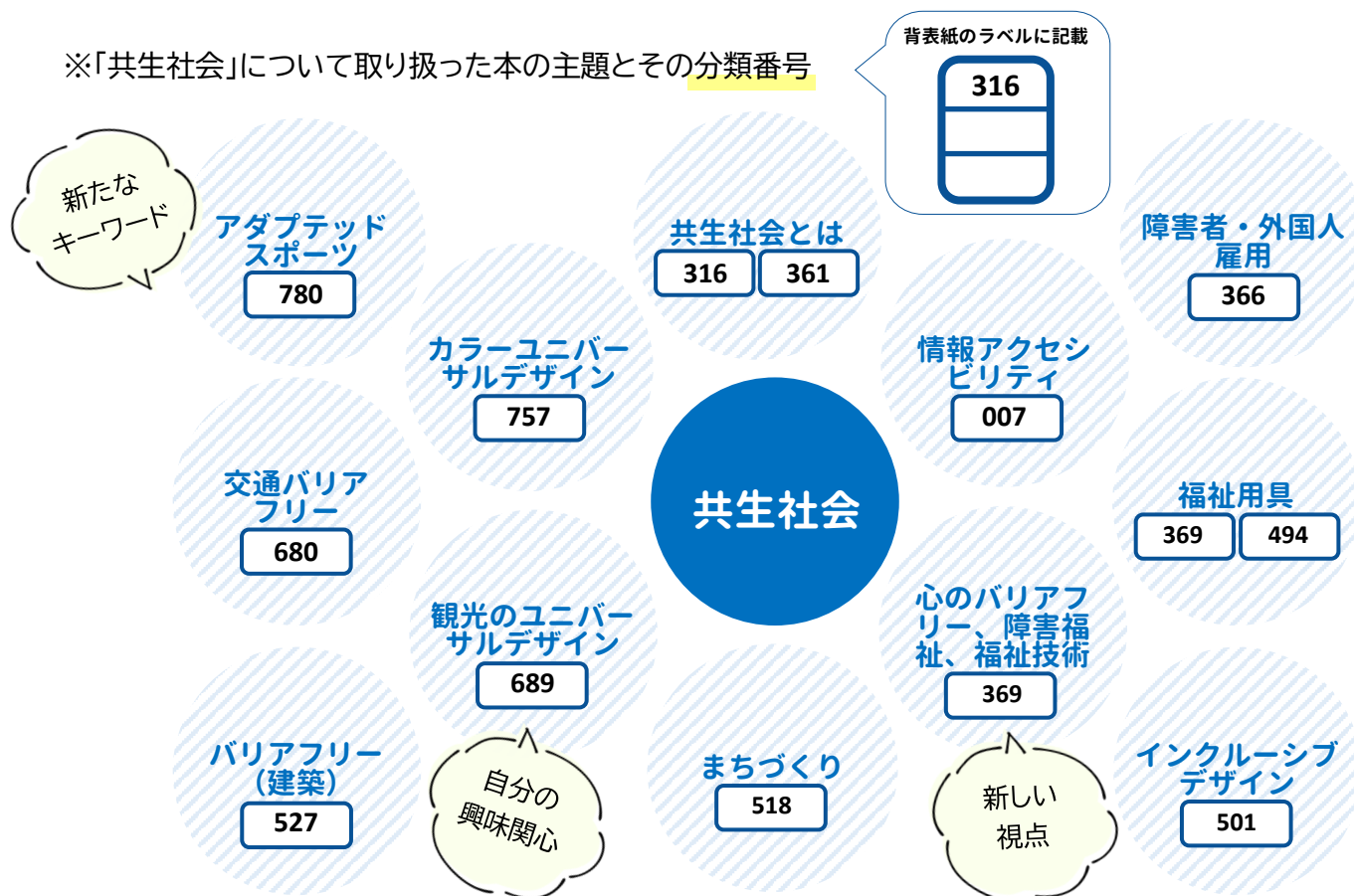
ブラウジングとは、目的の本を決めずに、本棚に並んでいる本の背表紙を眺めてみたり、ぱらぱらめくってみたりすることです。

図書館の本は、あらかじめその本に書かれている主題に添って整理され、分類番号にしたがって並んでいます。そのため1つのことについて探していても、そのことについて書かれた本は図書館のあちこちに分かれて並んでいることがあります。

点在するそれぞれの書棚に行ってブラウジングすることで、様々な角度から本を探ことができ、検索でヒットしなかった思わぬ発見があったり、自分にはなかった視点から課題を考えることにつながります。



※「共生社会」について取り扱った本の主題とその分類番号



図書館のあちこちに関連する本が…



それだけその問題が幅広い視点から論じられていると考えられます。

書棚に行ってブラウジングしてみると、問題についての理解が深まり、課題相互のつながりや新しい課題の発見に役立ちます。

また、インターネット検索では見つからなかった新たな情報やキーワードを発見できるかもしれません。

情報収集・分析のポイント

情報の信頼性を確認

収集した情報を参考にするにあたっては、下記のポイントを確認し、その情報が信頼できるか検討する必要があります。

また、検索を進める中で、自分の考えに有利な情報ばかりを集めてしまったり、フィルターバブルによって、インターネット検索で表示される情報に偏りが生じてしまったりする場合があります。必ず複数の資料に当たり、異なる意見がないか確認し、検証することが大切です。

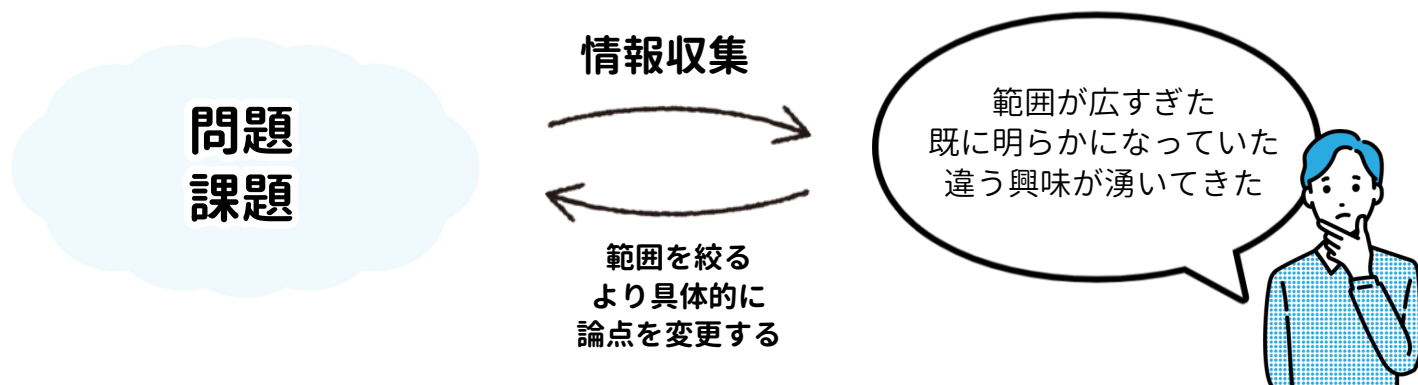
生成AIを情報収集に用いる場合には、参考文献が提示された場合でも鵜呑みにせず、文献の実在を確認する必要があります。

Check Point!

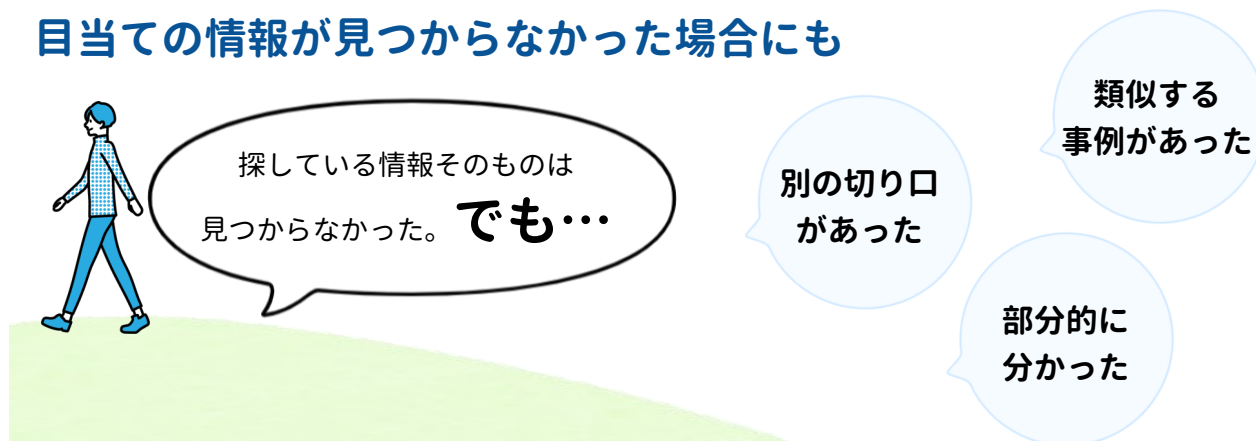
- ☑ いつ誰が発表した情報か
- ☑ 参考文献や引用など、根拠が明確になっているか
- ☑ 複数の資料や情報源に当たってみたか
- ☑ 情報に偏りはないか

情報収集は課題の設定や見直しにも役立ちます！

情報収集を進めることで、問題や課題に対する理解・関心が深まり、よりよい課題の設定や見直しにもつながります。



目当ての情報が見つからなかった場合にも



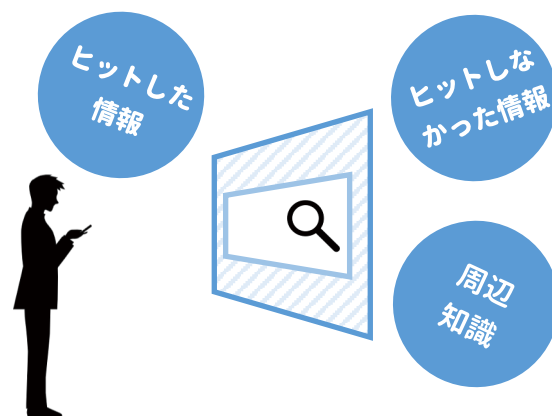
**調査の過程で分かったことは、課題の設定・情報の収集
整理・分析といった他のプロセスに活かします！**

検索手段による違い

インターネット検索では、あいまいなキーワードでもある程度情報がヒットするため、概要を掴んだり、情報収集のヒントを得るのに便利です。

ただし、キーワードの設定によってはノイズが多くなったり、既知のキーワードでは有効な情報をヒットさせられない場合もあります。

また、ヒットした情報のみで二次情報の収集を終えてしまうと、解決策の検討などに有効な周辺知識が置き去りになってしまう危険性もあります。



図書館で情報収集を行うことで、ブラウジングによって周辺知識を身に付けたり、検索ではたどり着けなかった資料を見つけたりすることができます。

ただし、タイトルだけでは自分に必要な情報が含まれている本かどうか判断できない場合もあります。また、本を使って調べることに慣れていないと、本の中から必要な情報を見つけるのに時間がかかることもあります。

本を使って効率よく必要な情報を探すためには、目次や索引を活用し、スキミングやスキニングといった文章の読み方を理解することも必要です。

既知のキーワードでの検索や、持っている知識で思いつく解決策には限りがあります。周辺知識を身に付けることは、一次情報の収集や課題解決策の検討にも役立ちます。

一次情報と二次情報

一次情報：インタビューや実験などを行って自分で直接収集した情報

二次情報：本・論文・Web情報などの伝達、編集された情報

一次情報を集める時にも、二次情報から得た知識が役立ちます。また、インタビューや実験などで得た情報を使って二次情報を検索すると、新たな発見があるかもしれません。一次情報と二次情報は組み合わせて活用することが大切です。

図書館で情報収集するメリット

- ① 様々な情報源に一度にアクセスでき、**情報活用能力**が身に付く
- ② **ブラウジング**で自分にはなかった視点からも検索できる
- ③ 情報が見つからない時や探し方が分からない時は**司書に相談**できる

みなさんの学校での探究学習やPBLにも、ぜひ図書館をご活用ください！